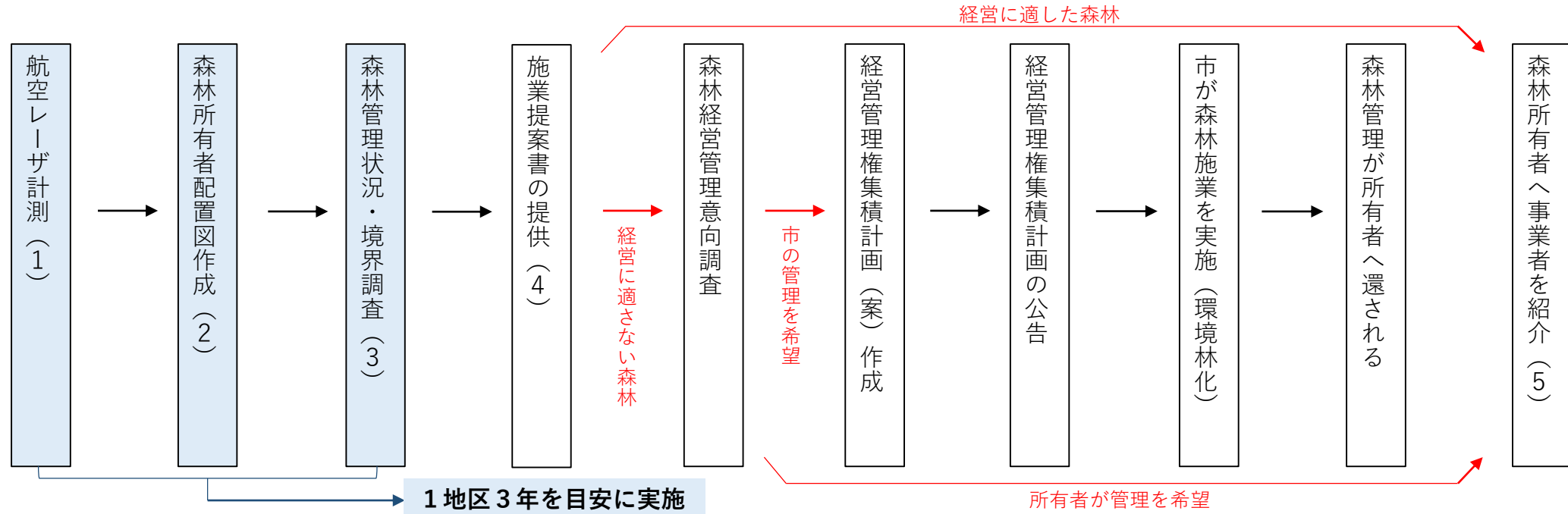


森林経営管理事業「能代システム」



(1) 航空レーザ計測

市内民有林を区割した14地区のうち1地区（1千~2千ha）を対象に航空レーザ計測し、当該森林の微地形、林相、資源量等を把握

(2) 森林所有者配置図作成

航空レーザ計測データを活用し、計測した地区の所有者配置図を作成

(3) 森林管理状況・境界調査

配置図を作成した森林（人工林を主体）の管理状況を調査し、現地立会等により所有界を特定。また、境界が確定した森林について当該森林の今後の施業提案書（収益見込含む）を作成

(4) 施業提案書の提供

森林所有者へ今後の森林整備の進め方や間伐等を実施した際の収益を記載した施業提案書を提供

(5) 森林所有者へ事業者を紹介

将来の経営管理をサポートする事業者や森林施業（保育・収穫間伐等）を請け負う事業者を紹介するとともに、所有者の希望に応じ事業者をあっせん